

(新本庁舎低層部等一体的利活用協議組織準備会)

第4回

日時：令和7年9月1日(月) 10:30-12:00

場所：仙台商工会議所 7階大会議室

委員紹介

氏名	所属等	分野等
猪股 孝之	一番町四丁目商店街振興組合 理事長	商店街
氏家 正裕	定禅寺通街づくり協議会 幹事・まちづくり部会長	地域活動団体
内川 亞紀 (オンラインで参加)	札幌駅前通まちづくり株式会社 代表取締役社長	事業収益性
姥浦 道生	東北大学災害科学国際研究所 教授	まちづくり・ 都市政策
佐藤 晶洋	国分町三丁目友和会 会長	近隣町内会
高山 秀樹	仙台商工会議所 常務理事・事務局長	商工・地域経済
馬場 正尊 (オンラインで参加)	東北芸術工科大学 教授	公共空間利活用

<仙台市>

氏名	所属等	氏名	所属等
湯村 剛	まちづくり政策局 次長	二階堂 聰	都市整備局 次長
猪狩 健一郎	財政局 次長	河西 義人	建設局 次長
瀧澤 孝二	経済局 次長		

1 開会

2 前回のディスカッションの振り返り

3 取りまとめの確認

①一体的利活用ガイドラインについて

- ・ 一体的利活用の目指す姿（案）について
- ・ 全体構成（案）について

②協議組織のあり方について

4 供用開始に向けたスケジュール

5 閉会

本準備会のスケジュールについて（第3回準備会資料を更新）

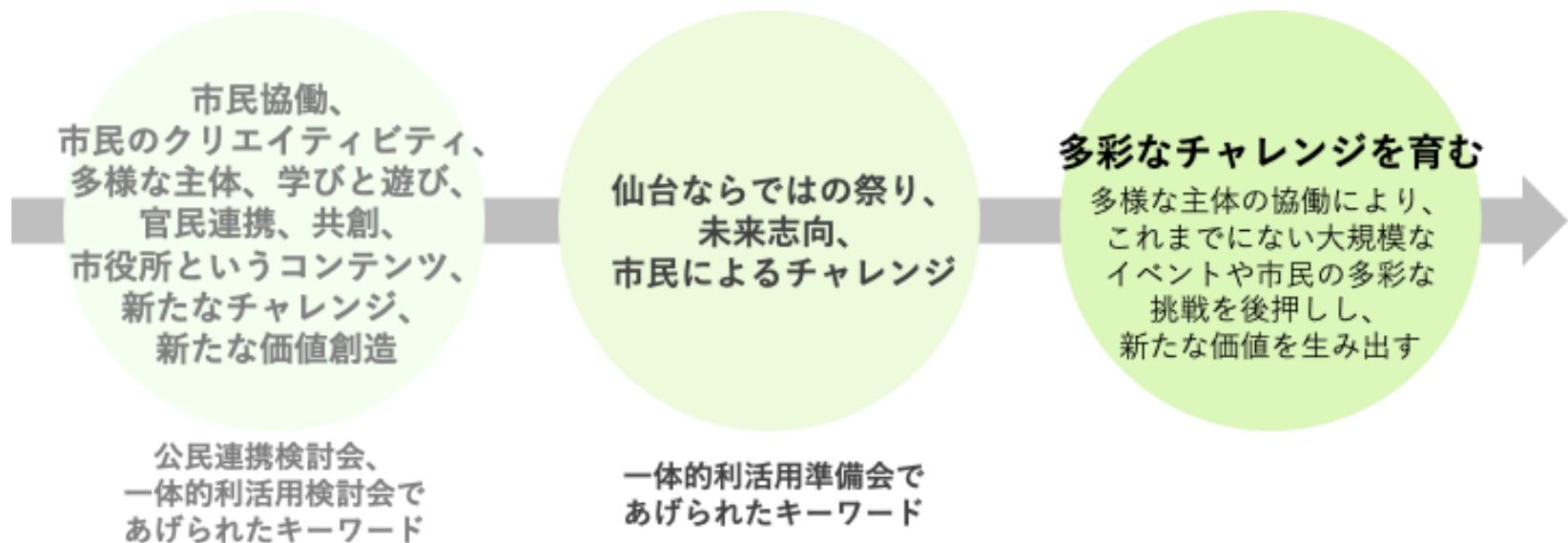
	主な検討内容（案）
第1回 (1/8)	<ul style="list-style-type: none">これまでの取り組み状況の振り返り本準備会の進め方について事例（札幌駅前通）によるスタディ（ビジョン・ミッション）など
第2回 (3/17)	<ul style="list-style-type: none">一体的利活用ガイドラインについてイベント関係者への意見聴取協議組織のあり方（案） など
5月～6月	市民参加型ワークショップ（フューチャーセッション）
第3回 (7/17)	<ul style="list-style-type: none">一体的利活用ガイドラインについて協議組織の概要について目指す姿について市民参加型ワークショップの結果共有 など
第4回 (9/1)	<ul style="list-style-type: none">目指す姿のまとめ一体的利活用ガイドラインの構成案まとめ協議組織の概要まとめ など

前回のディスカッションの 振り返りと論点整理

■ 一體的利活用ガイドライン－目指す姿について

テーマ1 『チャレンジ』

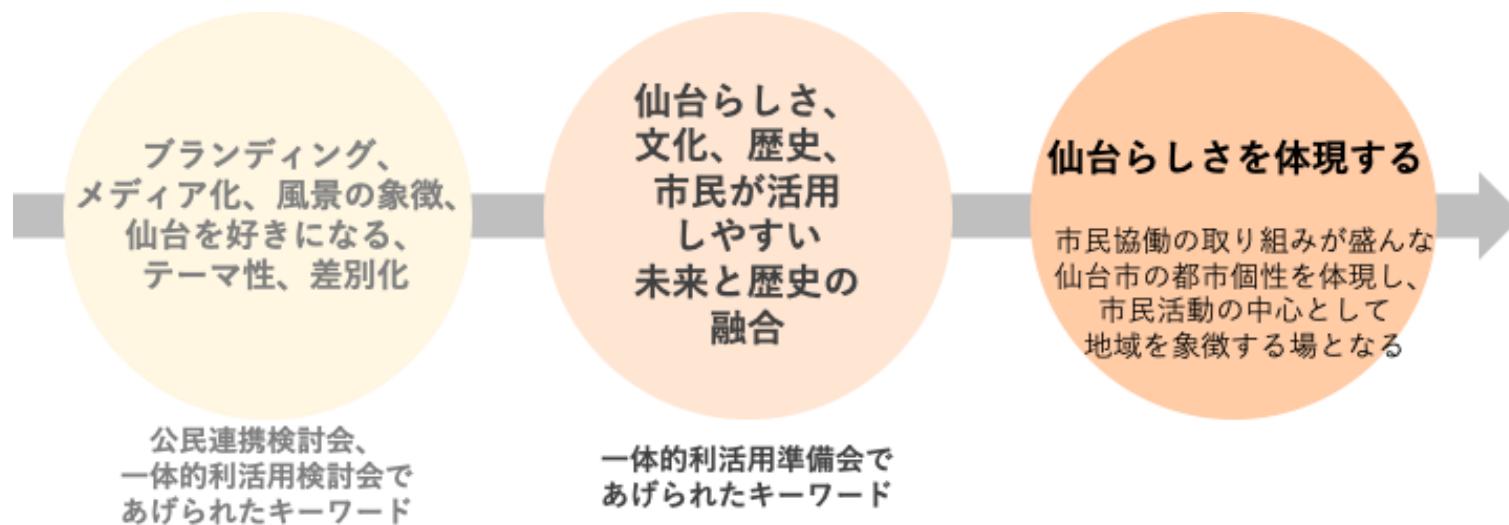
- ・ 大規模なイベントだけでなく、多様なイベントを含めた内容としてはどうか
- ・ 大規模なイベントは市民広場で、小さなイベントは定禅寺通など騒音が出ても問題ない場所でやるなど、役割分担を考えるべきであり、波及効果も重要ではないか



■ 一體的利活用ガイドライン－目指す姿について

テーマ2 『地域の象徴』

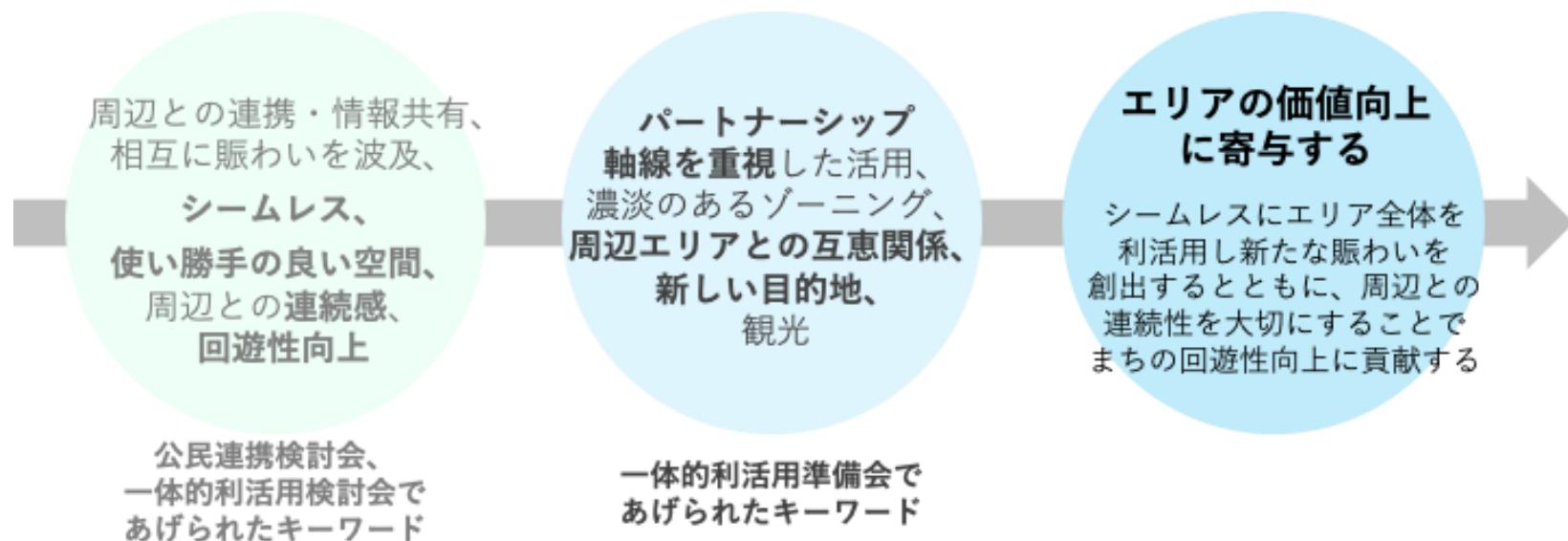
- ・ 「仙台らしさ」はよく使われる言葉であるが、具体的に何かがわからない。今ある「仙台らしさ」だけでなく、チャレンジを通じて新しいものが生まれていくような場所になるのが望ましい
- ・ 「仙台らしさ」は広い概念。具体的に出たものを抽象化するのは良いが、そのキーワードをいくつか提示することで、具体的なイメージがしやすくなるのでは
- ・ このエリアに来た時の「奥行きの深さ」が仙台らしさだと感じている。テーマ1によりこのエリアで「できごと」が生まれ、積み重ねることでエリアの価値向上に寄与するのではないか



■ 一體的利活用ガイドライン－目指す姿について

テーマ4 『エリアの価値向上』

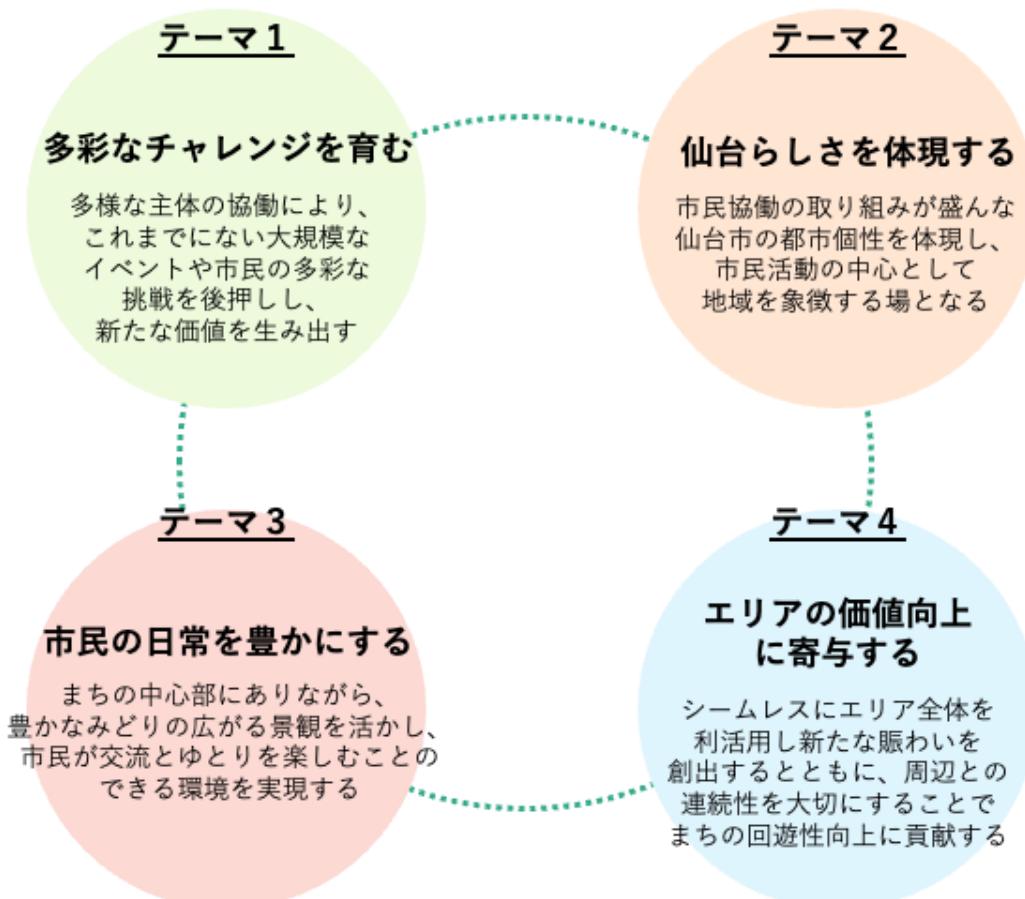
- 「エリアの価値向上に寄与する」は分かりやすいが、過去のキーワードが「賑わい」という言葉に集約されている感じがする。賑わいは結果として生まれるものであり、今回は「魅力づけ」を重視しているのではないか。



前回のディスカッションのポイント-4/6

■一體的利活用ガイドライン－目指す姿について <そのほか>

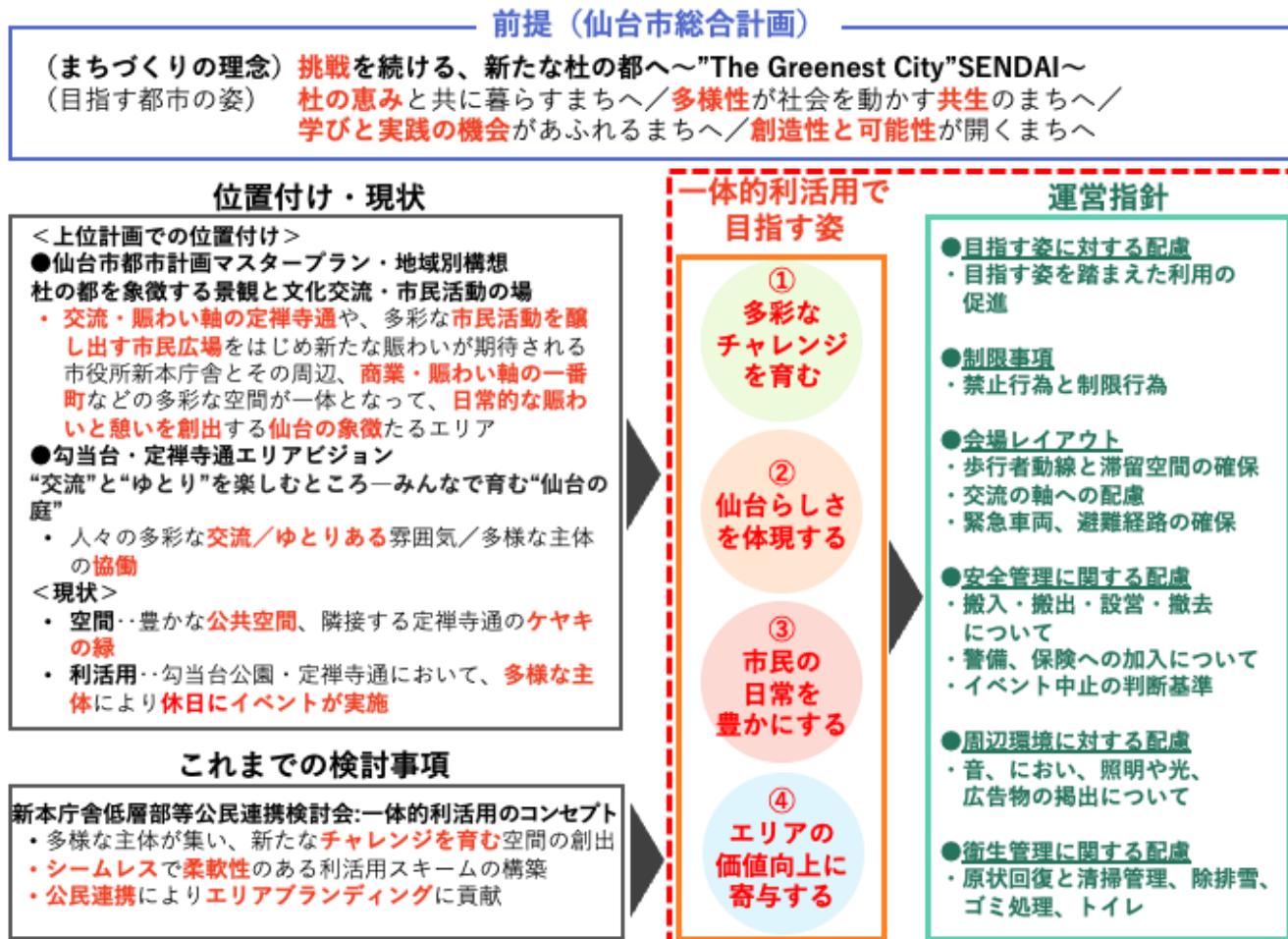
- 4つのテーマを束ねる最上位のビジョンがあると、何を目指しているのかより見えてくる。市民に分かりやすい具体的な例示があった方が良いのではないか



前回のディスカッションのポイント-5/6

■ 一体的利活用ガイドライン－運営指針

- 運営指針はルールと推奨事項を混ぜない方が良い。禁止事項（ルール）はミニマムにし、守ってほしいことは明確にした方が良い



前回のディスカッションのポイント-6/6

■ 協議組織について

- 組織の定義と役割、権限の有無を明確にすべきではないか。仙台市と運営事業者が話し合い、それに対してアドバイスしたり仲裁したりする立場ならば、「アドバイザーミーティング」や「サポート組織」など、役割をはっきりさせるべき
- なぜこの構成員なのか、どういうステークホルダーが必要なのかを明確にすべきである。市民の関わりを受けるという言葉があるが、「市民の代表」が誰なのか。地域の方々も重要だが、若者や学生なども含めるべきではないか。参加者は多様なステークホルダーを含めるべきではないか

目的：一體的利活用の運営に対し、専門家の知見および市民の関わりを受けて、
共創の視点を持ってともに考えていく場

役割：①目指す姿の議論（数年に一度）

②利活用ガイドラインの確認（必要に応じて隨時）

③運営課題についての共創的な解決を目指す検討・助言（年に数回）

④年次報告・成果確認（年に2回）

⑤運営課題に関するナレッジの蓄積（随时）

構成員

有識者、地域(町内会・定禪寺通街づくり協議会・一番町四丁目商店街)、近隣地権者、商工会議所

※各回で議論する内容に応じたゲスト委員出席

※オブザーバー(警察、保健所)



※運営事業者の成熟度に応じて役割・構成員は柔軟に変化していくことを想定

取りまとめの確認

① 一体的利活用ガイドラインについて

- ・ 全体構成（案）について
- ・ 目指す姿4つのテーマ（案）について

一体的利活用で目指す姿（案）

テーマ1

多彩なチャレンジを育む

多様な主体の協働により、
市民の多彩な挑戦や
これまでにないイベントの
実施を後押しし、
新たな価値を生み出す

テーマ2

仙台らしさを積み上げる

市民協働の取り組みが盛んな
仙台市の都市個性を体現する
とともに、**新たな仙台らしさ**
を生み出す**市民活動の舞台**と
して、地域を象徴する場
となる

市民向けの

キャッチフレーズ (運営事業者決定後に作成)

テーマ3

市民の日常を豊かにする

まちの中心部にありながら、
豊かなみどりの広がる景観を活かし、
市民が交流とゆとりを楽しむこと
できる環境を実現する

テーマ4

エリアの価値向上 に寄与する

シームレスにエリア全体を
利活用し新たな**魅力**を
創出するとともに、周辺との
連続性を大切にすること
でまちの回遊性向上に貢献する

ガイドラインの全体構成（案）

- ・札幌市北3条広場 使用の手引きの目次構成を参照して作成
- ・一体的利活用エリアの利用者を対象と想定して作成
- ・最終的な策定主体は仙台市

	項目	検討主体
0	はじめに 一体的利活用の理念	運営事業者・仙台市
1	目指す姿 (1) 4つのテーマについて (2) 目指す姿の実現に向けた大切な視点	本準備会 ・仙台市・ 運営事業者
2	エリアの概要 (1) 概要 (2) 各公共空間について (3) 設備について	仙台市
3	利用の手引き (1) 会場レイアウト (2) 安全、周辺環境、衛生管理について (3) 制限事項 (4) 利用の流れと申請書類等	本準備会（骨子） → 運営事業者・仙台市

0.はじめに（一体的利活用の理念）

1.目指す姿

(1) 4つのテーマ

①多彩なチャレンジを育む

多様な主体の協働により、市民の多彩な挑戦やこれまでにないイベントの実施を後押しし、新たな価値を生み出す

②仙台らしさを積み上げる

市民協働の取り組みが盛んな仙台市の都市個性を体現するとともに、新たな仙台らしさを生み出す市民活動の舞台として、地域を象徴する場となる

③市民の日常を豊かにする

まちの中心部にありながら、豊かなみどりの広がる景観を活かし、市民が交流とゆとりを楽しむことのできる環境を実現する

④エリアの価値向上に寄与する

シームレスにエリア全体を利活用し新たな魅力を創出するとともに、周辺との連続性を大切にすることでまちの回遊性向上に貢献する

(2) 目指す姿の実現に向けた大切な視点 ※以下は例示

- 新たな取り組みを積極的に実施すること
- 杜の都、市民協働など、地域性を大切にすること
- 気軽に立ち寄ることのできる滞留空間を確保すること
- 定禅寺通や一番町四丁目商店街など周辺エリアと連携すること

⋮

2.エリアの概要

(1) 施設概要

- 位置、面積、設置施設等

(2) 空間の利用

- 利用形態、利用時間、利用料金、利用可能日数等

(3) 設備の使用

- 電源関係、給水関係等

3.利用の手引き

(1) 会場レイアウト

- 様々な規模のイベントを想定
- 商店街からの軸線への配慮等

(2) 安全、周辺環境、衛生管理

- ゴミ、トイレ等

(3) 制限事項

- 音、光、利用内容等

(4) 利用の流れと申請書類等

- 経験の少ない方への配慮等

取りまとめの確認

②協議組織について

- 目的、役割、構成（案）について

一体的利活用アドバイザリー会議の役割・構成（案）

目的：一体的利活用を推進するため、専門家の知見および市民・地域の視点により、
共創的に検討・助言を行う

役割：①目指す姿の議論（数年に一度）

②利活用ガイドラインの確認（必要に応じて隨時）

③運営課題についての共創的な解決を目指す検討・助言（年に数回）

④年次報告・成果確認（年に2回）

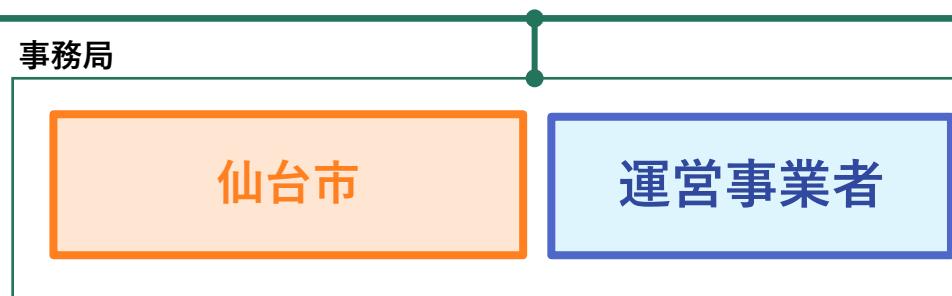
⑤運営課題に関するナレッジの蓄積（隨時）

構成メンバー

有識者、地域(町内会・定禅寺通りづくり協議会・一番町四丁目商店街)、近隣地権者、商工会議所等

※各回で議論する内容に応じたゲスト出席

※オブザーバー(警察、保健所等)



※運営事業者の成熟度に応じて役割・構成メンバーは柔軟に変化していくことを想定

供用開始に向けたスケジュール

【参考】供用開始に向けたスケジュール

- R7年度末の公募開始に向けて仙台市において準備中
- R8年度秋頃に事業者が決定したのち、地域関係者や有識者を交えた“（仮称）一体的利活用アドバイザリー会議”を設立予定

